

2014年度事業報告書

特定非営利活動法人 チャイルドドクター・ジャパン

I 事業の期間

2014年4月1日～2015年3月31日

II 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 東アフリカケニアでのボランティア保健医療活動

i) 海外活動:

ナイロビのチャイルドドクタークリニックを基盤に(ア)～(エ)の医療支援4事業を実施した。

(ア) 医療スポンサーシップ事業(チャイルド支援事業)

(イ) 低額診療事業

(ウ) エイズ支援事業

◎各事業詳細

(ア) 医療スポンサーシップ事業: チャイルドドクター制度を利用し、子ども達への無料医療支援を行った。フィールドスタッフがスラム・孤児院・施設を巡回調査、15歳までの子どもを登録。スラム地域に暮らす子ども799人(前年同期時約824人)、孤児院・施設に暮らす子ども456人(同382人)、慢性疾患を患う子ども55人(同53人)、合計1,310人(同1,259人)が登録され、無料医療支援を受けている。

クリニックでのチャイルドの医療費はすべて無料とし、クリニックで対応できず提携病院等に紹介した場合はそのすべての治療費をクリニックで負担した。

支援口数は、2008年12月の事業開始以降、2015年3月末時点で、1,000円換算で3,564口数の登録(昨年同時期3,233人)があった。支援口数においては10%の伸びを示している。事業計画目標であった516口数には満たないものの、一定の成果を出した。また退会者数については、スポンサーシップ班での支援者フォローアップ対策が重点的に実施された為、147人(昨年同時期197人)と全支援者の5%以下に抑えられている。退会理由の多くは、半数が本人都合による理由(退職や病気等)で、残り半数は、支援チャイルドの支援中止時(15歳満了・養子縁組・引越し・立ち退き時)が多くあげられた。

※チャイルドドクター制度: 1口1ヶ月1,000円～の支援金で1人の子どもと交流しながら無料医療実施を支援。会員種別は「継続支援会員」、支援者をチャイルドドクターと呼ぶ。ホームページ上で支援申し込みができる。支援を受けた子どもは無料診察券を受領し、すべての医療サービスを無料で受けられるようになる。

・支援金(会費)納付はクレジットカード決済、銀行振込を利用

⇒ 利用率: カード決済58%、銀行振込42%

(イ) 低額診療事業: チャイルドドクタークリニックにおいて、主に低所得者対象に低額診療を提供した。事業の内容は下記の通り。

・施設: 待合室・受付、問診／処置／経過観察室・診察室・薬局・検査室・母子保健/家族計画室・カウンセリング室・リハビリセンター

昨年度開始したリハビリサービスは、心身障害児患者数の増加に伴い、更に今年度、訓練室を増設した。

・診療日時: 月～金曜日・8:45～16:15

- ・診療人材:小児科医1名(日本人)、(以下ケニア人)準医師2名、看護師3名、検査技師1名、薬剤師2名、カウンセラー2名、受付・データ1名、作業療法士1名、理学療法士1名、その他非常勤スタッフ
- ・提携団体:社会医療法人医真会/米国大統領エイズ救済緊急計画(PEPFAR)/ケニア中央医学研究所(KEMRI)/FACES (NGO:Family AIDS Care & Education Services) サンフランシスコ大学/米国開発庁(USAID)/MEDS (NGO: Mission for Essential Drugs & Supplies)/Speical Education Professionals (SEP)/県保健局/その他公立・私立病院
- ・診療代:登録料130円程度を支払い、薬品・検査は別途加算。
リハビリ訓練65円程度、HIV陽性患者への診療および薬剤は無料
- ・診療内容:一般外来(内科、小児科、その他)、HIV患者包括的ケア、妊婦検診、家族計画、予防接種・小児健診、慢性疾患(高血圧・糖尿病など)外来、カウンセリング(心理、栄養など)、理学・作業療法
- ・今年度の実績
 - 小児慢性疾患患者(脳性麻痺、先天性心疾患、血液遺伝病など)の増加に伴い、連携施設の増加、診療の充実をはかった。

・患者数推移:

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2005年度	482	435	386	499	419	405	301	358	214	245	276	383	4403
2006年度	313	669	591	541	508	473	491	472	375	529	552	833	6347
2007年度	591	807	918	1089	1153	1133	1131	1081	722	736	956	992	11309
2008年度	1208	1262	1159	1216	1129	1111	1139	1080	621	1036	1078	1074	13113
2009年度	1012	1100	1367	1254	1054	884	1088	1039	600	911	925	862	12096
2010年度	989	1005	1052	1185	1095	924	888	1132	659	927	1018	1005	11979
2011年度	998	1113	990	1083	1111	880	889	1015	390	642	794	927	10832
2012年度	994	1059	1021	1134	962	1030	1263	1221	758	942	1231	583	12198
2013年度	993	1453	869	1260	1153	908	1197	1179	582	996	1257	1467	13314
2014年度	1182	1377	1109	958	1237	1213	867	1171	675	935	1129	1073	12926

新患患者2,086名、(以下のべ人数)一般外来2,086名、HIV外来3,228名、低所得地域スポンサー支援児1,444人、慢性疾患スポンサー支援児1,506人、孤児院スポンサー支援時53名、妊婦健診118名、家族計画64名、予防接種111名、リハビリ訓練2,190名。また外来患者のうち、のべ2,055名はスポンサー支援を受けている小児の受診であった。

(ウ)エイズ支援事業:HIV感染者/エイズ患者への無料医療支援

当クリニックHIV包括的ケアセンターにおいて、引き続きHIVカウンセリングとテスト、日和見感染症予防と治療、抗HIV剤の投与、栄養カウンセリングと補助食品の配布、免疫検査、結核検査、精神的・社会的支援のためのカウンセリングなどを無料で提供した。2014年度のHIVテスト件数は447名、2015年3月末までに、計1,737名が登録され、現段階で、1,258名が治療継続中、そのうち、611名に抗ウィルス剤投与が継続されている。

(エ)コミュニティヘルス事業

2014年度においては、アセスメントや案件申請を目標にしていたが、年度内の申請については見送った。

ii)国内事業

(ア)ファンドレイジング事業

a)新ホームページへの移行

9月14日のテレビ放送(読売テレビ「グッと!地球便」)に合わせて、予定通り9月初旬より新ホームページへ移行した。(株式会社メディアライツの無償支援による)新しいHPでは、翻訳ボランティアのページ機能を新しく追加し、翻訳後に支援者か

ら翻訳に対する感謝のメッセージが翻訳ボランティアに届く機能を追加した。また過去の手紙交流を翻訳ボランティアが全て閲覧できるようになった結果、翻訳の精度が格段にアップした。管理画面上も効率化が進み、チャイルドの登録作業に至っては、以前と比べて10倍の速度で入力が可能となった。

またチャイルドと支援者のマッチング作業もほぼ自動化できたお蔭で作業時間を短縮することができた。旧バージョン同様に、90日間のお試し期間は引き継いだものの、以前は90日以内に支払い情報を入力しなければ自動退会となっていたが、新バージョンでは、まず支払い情報を入力頂き、退会の申し出がなければ、自動的に90日後から支援が開始される方法へと変更した。

旧バージョンでは、携帯・スマホからの閲覧が難しかったが、新バージョンでは、携帯・スマホから閲覧・登録・手紙送信等が可能となった。その為、以前は月間1,000通ほど手紙の交流があったが、10月以降は、月間2,000通近くにまで増加した。

現地職員の中で、手紙を担当する職員は一部歩合制になっている為、毎月締日前に、各担当者が処理した手紙数を集計していた。これまでは集計は手作業で作業に1日取られていたが、自動集計ページの設置により、数秒で確認が可能となった。

本部・ケニア事務所からの変更修正要望に、株式会社メディアライツのチャイドクチームが細やかに対応頂いており、新HP開設後も全て無償で協力頂いている。

b) 未収金回収事業

未収金回収事業については、新HPのプログラムに追加予定であったが、他のプログラム作成を優先させた為、年度内にHP制作会社に未収金回収プログラムを発注することが出来なかった。しかし、下記表にあるように、2015年2月・3月期の回収率が好転しており、新HPでのカード期限切れ時の自動通知機能に加え、本部・ケニア事務所スポンサーシップ班の支援者対応が功を奏した形となった。

	2014/09/末	2014/10/末	2014/11/末	2014/12/末	2015/01/末	2015/02/末	2015/03/末
支援登録者数	2,930	2,948	2,958	2,964	2,959	2,958	2,953
登録合計口数	3,479	3,520	3,547	3,550	3,558	3,567	3,564
①本来入金される支援金入金額	3,505,000	3,585,500	3,865,500	3,871,000	3,883,000	3,908,000	3,914,500
②実際の支援金入金額	2,375,120	1,798,120	2,262,620	2,470,120	2,468,120	2,744,620	2,977,120
入金率	67.8%	50.1%	58.5%	63.8%	63.60%	70.20%	76.10%

c) 継続支援会員一人あたりの支援額の引き上げ

現行毎月1,000円の支援額を、複数の価格帯(1,000円・1,500円・2,000円)を設置し、より高い価格帯へと移行してもらえるよう働きかけた。161の方が、1,000円から1,500円へ移行して下さり、また189の方が、1,000円から2,000円に移行して下さった。

d) コスト削減業務

年間60万円程かかっていたグーグル広告を、2014年10月以降中止した。これによりウェブサイトへの広告出稿費用が削減した。この他、ケニア事務所でも事務所を上げて、コスト削減業務に取り組んでおり、トイレトペーパー等の一般消耗品や、車両搬送のガソリン代等、劇的に減少しており、職員一丸となって削減努力に努めた結果が出た。

e) その他

読売テレビ「グッと！地球便」において、団体の活動が取り上げられた。放送後、約400名の新規会員登録があり、一定の宣伝効果を果たした。

(2) その他の事業

① 会報冊子販売:オリジナルカレンダーの制作販売

オリジナルカレンダーは従来通り A4 版、卓上版の 2 種を制作、販売価格はいずれも 1 冊 1,000 円とした。販売は銀行振込注文のほか、インターネット利用支援者向けにカード払い販売ページを設置。販売冊数は A4 版が 545 冊、卓上版が 231 冊であった。

② 東アフリカケニアの特産品・民芸品の販売

開催日・事務局運営上の問題で地域イベントでの販売会は実施しなかった。